



親子で語ろう 未来の動物園！

共汗でつくる新「京都市動物園構想」の策定について

～「動物園大好き市民会議(仮称)」を設置！～

京都市では、明治36(1903)年4月、建設総額の約4割を市民(約6,000人)からの寄付金を元に全国で2番目となる動物園を開園し、これまでから、来園者が気軽に動物達とふれあうことのできる「おとぎの国」の開設やゴリラの三世代繁殖の成功など、全国に先駆けた取組を行ってきました。

近年では、「飼育員による動物ガイド」や立体お面の作成など、職員の動物達への愛情が詰まった手作りの取組により、10年ぶりに入園者数を70万人台(ピーク時140万人)にまで回復させています。しかし、100年以上を経た施設はその老朽化が著しく、環境保全や維持管理コストの面からも、新しい時代に適応した施設へのリニューアルが望まれており、魅力的な動物園を創ろうと、市民団体「楽しい動物園を創る会」からも様々なアイデアを頂いているところです。

こうした中、平成27年度までの7年間で総額30億円をかけて再整備していく素案の取りまとめを進めており、今後は、下記のとおり、「動物園大好き市民会議(仮称)」を設置し、構想案策定の初期段階から広く市民の皆様方に参画いただくこととしたので、お知らせします。

なお、この構想策定に先立ち、子ども達の来園が一層見込まれる今年の春休みまでには園内の疏水記念館側に新たに東出入口を設け、地下鉄「蹴上」駅から徒歩5分の近い動物園を実現し、更なる利用者増を図って参ります。

記

1 具体的な検討手法

- 「動物園大好き市民会議(仮称)」の設置
- “親子で語ろう、未来の動物園”会議の開催
- 「京都市未来まちづくり100人委員会」での検討
- 小中学生から絵画や作文を募集する『子どもが描く「私の動物園」』の実施
- 動物園内での野外ワークショップ等の開催 等

2 スケジュール(予定)

平成21年 3月 「動物園大好き市民会議(仮称)」の設置

平成21年10月 「京都市動物園構想」策定

(参考)

■ 京都市の整備構想素案の概要

1 テーマ

「近くて楽しい動物園」

2 7つのコンセプト

- ①『「近く」で動物の大きさやにおいを実感し、「いのち」が感じられる動物園』
 - ・ 来園者の五感を刺激し、「自然」「いのち」「こころ」「人間」について考える場を提供
- ②『全ての人に優しい動物園』
 - ・ 段差のない園路や授乳室など、お年寄りやハンディキャップのある方、子育て世代にも配慮した設備を整え、全ての入園者が快適に利用できる施設
- ③『環境に優しい動物園』
 - ・ 動物舎暖房への自然エネルギーの導入、雨水利用、動物糞の堆肥化等を推進
- ④『楽しく学べる動物園』
 - ・ 動物達とふれあい、また身近に観察できることを通じて、生物の多様性からいのちの尊さまでを楽しく学習
 - ・ 常駐する京都大学教員の最新の研究成果を即座に体感
- ⑤『安全で安心な動物園』
 - ・ 入園者の皆さんに緊急情報を正しく伝えるための園内放送設備の改善
 - ・ 緊急・異常事態にはいち早く通報できる、全国の動物園でも初めての「緊急通報システム」を園内 27 箇所に設置
- ⑥『市民との共汗で創る動物園』
 - ・ 地域住民や市民ボランティアの方々との共汗による動物園運営
- ⑦『食べる楽しみ、買う楽しみを大切にした動物園』
 - ・ 子どもにも人気のあるレストランメニューやオリジナルグッズの開発、市民ニーズに合った商品販売を促進し、リピーターを確保

3 再整備イメージ..... (別紙)

- 園内 (38,765 m²) を展示施設 6 ゾーンと管理利便施設、飼育・研究関連施設等 (バックヤード) に分ける。
- 昭和 30 年 4 月に全国で初めて開設した『ふれあい広場「おとぎの国」』の敷地面積を約 2.5 倍に拡充
- ネコ科の動物達 5 種類を一堂に集めた“ネコワールド”の新設
- キリンやカバなどの大型草食獣、鳥類の混合飼育に取り組む“アフリカの草原”の新設 等

■京都市動物園の概要（平成 21 年 1 月 5 日現在）

○施設面積

38,765 m²

○動物数

168 種 677 点

○開園時間（*入園は閉園の 30 分前まで）

3 月～11 月 午前 9:00 ～ 午後 5:00

12 月～ 2 月 午前 9:00 ～ 午後 4:30

○休園日

毎週月曜日，年末年始（12 月 28 日～1 月 3 日）

*ただし，祝日が重なったときは翌日が休園日

○入園料金

大 人（個人 1 回）：500 円，（団体 1 回）：400 円，年間入園券：2,000 円

中 学 生（1 回）：300 円，小学生以下無料

*団体とは 30 名以上